

振替払込
受付証明書
(E票)
貼付欄

必ず郵便局・銀行
等の窓口で振り込
みください。

申込場所

北海道大学高等教育推進機構1階 6番公開講座窓口

実施会場

北海道大学情報教育館3階 スタジオ型多目的中講義室

札幌市北区北17条西8丁目

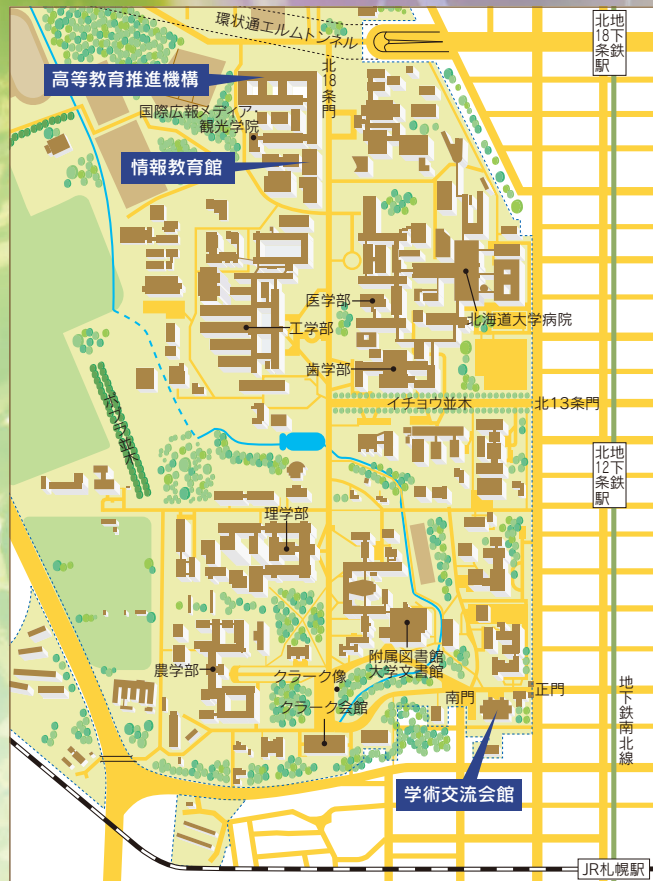
地下鉄「北18条」駅下車徒歩9分(約500m)

中央バス「北18条西5丁目」下車徒歩7分(約400m)

(7/18のみ)北海道大学 学術交流会館 小講堂

札幌市北8条西5丁目

札幌駅下車徒歩10分(約300m)



●自家用車での来学について

駐車場狭隘のため、できる限り公共交通機関をご利用ください。やむを得ず自家用車で来学される方は、北20条東門から入構願います。その際、入り口ゲートで発券された入構精算券は、必ず公開講座担当者へ提出し、確認印を受けてください。確認印がないと出構できません。駐車場は高等教育推進機構北側の駐車場をご利用ください(北13条門から入構した場合、機構北側駐車場へは通り抜けできません)。また、学術交流会館付近には駐車スペースがありません。なお、出構時に入構料として300円を徴収いたしますので、あらかじめご了承ください。

—平成28年度—

北海道大学 公開講座 全学企画

テーマ

「国のかたち」を 案ずる時代の知恵

申込期間

平成28年 6/1(水)▶6/24(金) 《土曜・日曜を除く》
9:00~17:00

実施期間

平成28年 7/4(月)▶7/25(月) 18:30~20:30
(但し7月18日のみ13:00~14:45及び15:15~17:00)

会場

北海道大学情報教育館3階
スタジオ型多目的中講義室
(札幌市北区北17条西8丁目)
(7/18のみ)北海道大学 学術交流会館 小講堂
(札幌市北8条西5丁目)

受講料

5,000円



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

講師略歴

第1回	農学研究科 特任教授 丸谷 知己 (まるたに ともみ)	北海道大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士(九州大学)。九州大学農学部助教授などを経て、2004年から本学大学院農学研究科教授。2013~15年、農学研究院長。専門は流域砂防学。昨年本学に発足した「突発災害防災・減災共同プロジェクト拠点」の拠点長を務める。
第2回	薬学研究科 准教授 堺谷 政弘 (さかいに まさひろ)	大阪大学大学院修士課程修了。理学博士(大阪大学)。サントリー生物有機科学研究所や中外製薬鎌倉研究所を経て、2013年から現職。専門は創薬化学。薬学研究科創薬科学研究教育センターで、パーキンソン病治療薬や抗がん剤、緑膿菌感染阻害剤の創薬研究などを手がける。
第3回	教育学研究院 准教授 鳥山 まどか (とりやま まどか)	北海道大学大学院教育学研究科博士課程修了。本学教育学研究院助教を経て2014年から現職。専門は教育福祉論。家族の中の「お金」、とくに子育てにかかわる家計管理の問題に焦点を当て、教育費負担の不平等や、家計管理とソーシャルワークなどのテーマを研究している。
第4回	法学研究科 教授 権左 武志 (ごんざ たけし)	東京大学法学部卒。博士(法学)(北海道大学)。本学法学部助教授などを経て、1998年から現職。専門は政治思想史。ヘーゲルや現代ドイツの政治思想、丸山眞男など戦後日本の政治思想を研究。『ヘーゲルにおける理性・国家・歴史』(岩波書店)で和辻哲郎文化賞学術部門を受賞。
第5回	農学研究科 教授 野口 伸 (のぐち のぼる)	北海道大学大学院農学研究科博士課程修了。同研究科助教授などを経て、2004年から現職。専門は生物環境情報学、農業ロボット工学。農業のIT化・ロボット化研究の第一人者として国際的にも注目される。宇宙開発利用大賞内閣府特命担当大臣(宇宙政策)賞などを受賞。
第6回	北方生物圏 フィールド 科学センター 教授 宮下 和士 (みやした かずし)	北海道大学水産学部卒、東京大学大学院博士課程修了。本学水産学部助教授などを経て、2011年から現職。専門は海洋生態系計測学、システム水産学。水中の観察技術の開発や、水産資源の持続的利用の研究に取り組み、とくに魚群探知機の応用研究の分野では世界をリードする。
第7回	メディア・ コミュニケーション 研究院 准教授 岡本 亮輔 (おかもと りょうすけ)	筑波大学大学院博士課程修了。2015年から現職。専攻は観光社会学、宗教学。日本とヨーロッパで、聖地や伝統文化の観光化を調査している。『聖地と祈りの宗教社会学』(春風社)で日本宗教学会賞受賞。他の著書に『聖地巡礼—世界遺産からアニメの舞台まで』(中公新書)など。
第8回	工学研究院 教授 松藤 敏彦 (まつとう としひこ)	北海道大学大学院工学研究科修了。同研究科助教授などを経て2006年から現職。専門は廃棄物工学。ごみの発生から埋立処分までのプロセスを総合的に研究する。14年から廃棄物資源循環学会会長。『環境問題に取り組むための移動現象・物質収支入門』(丸善出版)など著書多数。

テーマ

「国のかたち」を案ずる時代の知恵

講座内容

戦後70年の節目を機に、「国のかたち」が多くの人々の思索と議論的となる時代を迎えています。安全保障や憲法の問題はとくにホットな論点ですが、大事な話はそれだけではありません。超高齢社会における医療。経済格差と教育。技術革新が生み出す新しい食料生産。観光立国の可能性と課題。真に持続可能な循環型社会のしくみづくり。そして、この国土に生きる私たちの自然災害への向き合い方。本講座では、こうしたトピックに関する最新の研究について北海道大学の8人の研究者がお話しし、幅広い視点から「国のかたち」について考えます。

申込期間	平成28年6月1日(水)～6月24日(金) 《土日を除く》9:00～17:00
実施期間	7月4日(月)～7月25日(月)の月曜日及び木曜日 18：30～20：30 (但し7月18日(月・祝)のみ13：00～14：45及び15：15～17：00)
定員	100名(7月18日(月・祝)のみ単発で250名まで受講可能)
受講料	5,000円(1回のみ受講する場合は1,500円) ※専用の払込票にてお支払いください。振替払込受付証明書(以下、E票)は、受講申込書の所定の位置に貼付のうえ提出願います。なお、既納の受講料はお返しできませんのでご了承ください。
会場	北海道大学情報教育館3階 スタジオ型多目的中講義室 (札幌市北区北17条西8丁目) (7/18のみ)北海道大学 学術交流会館 小講堂 (札幌市北区北8条西5丁目)
受講資格	18歳以上の方であればどなたでも受講できます。 (学歴・職歴は問いません)
特定回の受講	全8回の講義のうち、定員に余裕がある場合は、特定回のみ単発で受講することが可能です。希望される講義の開催3日前までに問い合わせ先までご連絡ください。なお、特定回の受講料は1回あたり1,500円です。
修了証書	6回以上受講した方には、最終講義終了時に修了証書を交付します。
道民カレッジ	本講座は道民カレッジ連携講座として指定されています。 (教養コース 16単位)※6回以上の出席が必要

申込手続きの流れ				自家用車での来学について
① はじめに、定員の超過の有無をご確認ください。 ・定員に余裕がある場合 ② 専用の払込票により、郵便局または銀行等の窓口で受講料をお支払いください。その際、控えとして受け取った「振替払込受付証明書(以下、E票)」は、受講申込み時に必要ですのでなくさないようご注意ください。 ③ E票を裏面に添付した受講申込書を直接窓口へご持参いただくか、郵送でお申し込みください。				駐車場狭隘のため、できる限り公共交通機関をご利用ください。やむを得ず自家用車で来学される方は、北20条東門から入構願います。その際、入り口ゲートで発券された入構精算券は、必ず公開講座担当者へ提出し、確認印を受けてください。確認印がないと出構できません。駐車場は高等教育推進機構北側の駐車場をご利用ください(北13条門から入構した場合、機構北側駐車場へは通り抜けできません)。また、学術交流会館付近には駐車スペースがありません。なお、出構時に入構料として300円を徴収いたしますので、あらかじめご了承ください。
問い合わせ・申込先				
国立大学法人北海道大学学務部学務企画課(教育支援担当) 〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目 高等教育推進機構 1階 6番公開講座窓口 電話 011-706-5567(直通)				
日程	講義題目	講師	講義概要	
第1回 7/4月	自然災害は予測できるか	農学研究院 特任教授 丸谷 知己	我が国は、海に囲まれた特殊な自然環境にあり、自然災害から住民を守ることが何よりも大切です。そのためには、災害を的確に予測することがまず第一歩ですが、そのためには誤った常識に惑わされない知恵が必要です。	
第2回 7/7木	高齢化社会と創業	薬学研究科 准教授 堺谷 政弘	老化に伴い気になる病気として認知症、がん、感染症があります。最近の新薬の開発事例、最新の創業研究の例、および、生活習慣の管理によりそれらの病気を克服し、健康寿命を伸ばす可能性についてお話しします。	
第3回 7/11月	現代日本における子育てとお金	教育学研究院 准教授 鳥山 まどか	この講義では、「子どもの貧困」の問題や「子育て家族の経済格差」の問題を、「家計(お金のやりくり)」という視点から考えます。子育て家族の家計の現状や、家計と社会制度の関係について理解することを目指します。	
第4回 7/14木	戦後民主主義の思想と冷戦終焉後の変容	法学研究科 教授 権左 武志	七〇年余りに敗戦を体験した日本で、明治以来の歴史を振り返り、冷戦下に進むべき進路と方向性を示そうとしたのが丸山眞男らの戦後思想でした。戦後民主主義の思想はいかに形成されたか、冷戦終焉後にいかに変容したかを考えます。	
7/18月祝	第5回 13:00～	農学研究院 教授 野口 伸	ロボット技術や作物の生育・品質判定技術などのITの農業分野への導入は、従来の生産体系を変革する可能性を秘めています。最新の研究開発成果を紹介するとともに、その普及のあり方について考察します。	
	第6回 15:15～	北方生物圏フィールド 科学センター 教授 宮下 和士	海洋生物資源を人類が持続的に利用するためには、それらとそれらを取り巻く様々な環境を理解することが重要です。本講演ではそれらを理解するために必要不可欠な可視化技術とその応用について最新研究を交えて紹介します。	
第7回 7/21木	観光がつくり変えるこの国のかたち	メディア・コミュニケーション研究院 准教授 岡本 亮輔	過疎化に悩む地域も世界遺産登録で一発逆転! 外国人観光者の激増で経済停滞も解決! 観光は希望を与えてくれますが、その背後では様々な意図や感情が交錯します。この授業では、そんな観光の裏側について考えます。	
第8回 7/25月	よいリサイクルかどうかの見分け方	工学研究院 教授 松藤 敏彦	リサイクルやごみのエネルギー利用は、本当に「環境にやさしい」のでしょうか。工学的な原理、およびどんなことに注意すべきか、望ましい(あるいは望ましくない)方法の見分け方を、多くの実例によって紹介します。	

平成28年度 北海道大学公開講座	
受講申込書	
フリガナ氏名	年代 (歳代) 男 ・ 女
〒	
現住所	
TEL ()	—
e-mail :	

(アンケート) 下記に該当する部分に○をつけてください。

問1. あなたはこの講座をどのようにして知りましたか。

☐	1. 新聞
☐	2. インターネット
☐	3. 受講案内(直接送付されたもの)
☐	4. 受講案内(学習センター・図書館・ちえりあに置いてあったもの)
☐	5. 受講案内(ふれあい広場に置いてあったもの)
☐	6. 道民カレッジガイドブック・ホームページ
☐	7. 友人・知人からの誘い
☐	8. その他()

問2. 受講を申し込むにあたり、どなたかを誘われましたか。

☐	1. 友人	☐	2. 知人	☐	3. 家族	☐	4. その他
--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	-------	--------------------------	--------

問3. 誘った結果はどうでしたか。

☐	1. 申し込んだ	☐	2. 申し込まなかった	☐	3. わからない
--------------------------	----------	--------------------------	-------------	--------------------------	----------

問4. あなたは過去に大学が主催する公開講座を受講したことがありますか。

☐	1. ある	☐	2. ない
--------------------------	-------	--------------------------	-------

問5. 問4で「ある」と答えられた方は、以下から該当するものを全てお選びください。

☐	1. 北海道大学の全学企画の公開講座を受講したことがある。
☐	2. 北海道大学の各研究科等が主催する公開講座を受講したことがある。
☐	3. 北海道大学以外の大学公開講座を受講したことがある。

問6. あなたは道民カレッジの学生になっていますか。

☐	1. はい カレッジ生番号()	☐	2. いいえ
--------------------------	------------------	--------------------------	--------

問7. 今後、受講案内の送付を希望しますか。

☐	1. はい	☐	2. いいえ
--------------------------	-------	--------------------------	--------

・担当者記入欄	
日付	番号

※申込書に記入した個人情報は大学の行事等の案内以外には利用いたしません。